活動報告

-とある特別養護老人ホーム（特養）を訪ねて-

ある日、一本の電話がかかってきました。

「小田君ですね。一度特養の現状を見にきてください」と。「ぜひ」と即答しました。

私は、福祉病院委員会に所属しています。この委員会が所管する病院、福祉、介護という問題は自治体において最も重要な施策の一つですが、**実情の把握が難しいと感じていました。**そのなかでの一本の電話。行くしかありません。

ということで、**特養に見学に行ってきました。**

車で向かうと、ホームはひっそりとした場所に位置する環境のよいところでした。施設長さんに紹介して頂きながら、ホームを巡ると、ゆったりとした部屋に初春の暖かい陽光が差し込み、入居者の方もどことなく心地よさそうなお顔で過ごされていました。設備を見渡すと、最新鋭の入浴システムが導入されており、それは介護士の負担を軽減できるものでした。

ホームを見ながらお話を伺うと3点のことに気づかされました。

一つ目は、特養と聞くと、**入居待ちの方が多くなかなか希望しても入れないと聞きますが、現状はそうではないこともあるとのことでした。**例えば、入居待ちが多いのは「統計上」そう見えるという可能性もあるとのことです。これは申請者が二重、三重に申請を出しており、入居条件を満たしていない方でも「とりあえず」申請を出していることが要因として考えられるとのことでした。

二つ目は、周知のことですが、**現場の介護職員不足は深刻です。**入浴介助、食事介助など、対面でしか対応できない業務が数多くあるなか、現行の人員で切り盛りするのは大変な負担になります。介護職員の報酬は必要です。

最後に、**来年度から地域で介護を見守ることを主旨とした新総合制度に移行することです。**今までは国の事業でしたが、H30年度からは自治体へ移管されます。自分が住んでいる生活圏のなかで医療、福祉、介護が受けられることは幸せなことですが、一方で制度運営のための課題もたくさんあり、しっかりと提案、注視していきたいです。

訪問し改めて感じたのは、**現場の声を聞く。そして、それを提言に活かしていくこと。**

これからも、いろいろな人に会い制度と実態の乖離を肌身で感じていくことが必要であると再認識しました。

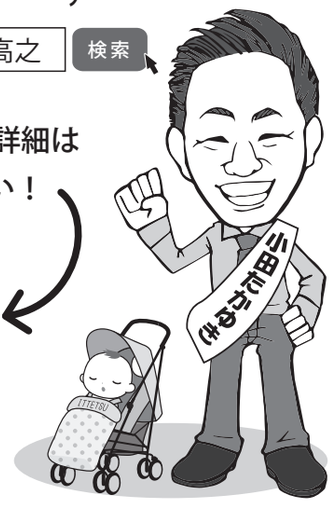
最新情報・活動報告はコチラから！

★H　P★　小田たかゆき　検索

★Twitter★　@odatakayuki1984

★facebook★　小田 高之　検索

小田たかゆきの活動詳細は
ブログをご覧ください！



小田たかゆき通信

【発行元】
小田高之後援会
〒444-0837　岡崎市柱3-10-4
TEL：090-9894-5920
E-mail：oda.takayuki.office@gmail.com

Profile

昭和59年、岡崎市柱町で、3人兄弟の長男（妹2人）として生まれる。岡小→南中→北高でサッカーに夢中な日々を過ごし、卒業後18才でサッカーの母国イギリスにわたりコーチングライセンスを取得。帰国後、関西学院大学・大学院（兵庫）で都市計画、災害対策を学ぶ中、中国の四川大地震、東日本大震災、山間部の豪雨災害に被災した現場を訪れる。卒業後、京都の小さなNPO法人に就職し、専門性を活かした職務に従事する。若者の意見が政治に届いていない現状を、仕事や学生時代の仲間と話しをする中で疑問に感じ、28歳で、自ら三田市（兵庫）の市議会議員選挙へ立候補するも思い届かず落選。その後、ふるさとの岡崎で政治を一から学ぶことをこころに誓い、3年間、愛知県議会議員の秘書として愛用のバイクで岡崎を走り周り続ける。

平成28年、岡崎市議会議員選挙に立候補し初当選。

第2回市政報告会レポート

3月議会/全会派の代表質問が終了

特集は内側へ！

ご挨拶　～GREETING～

多くの方の「声を聞き」、集め、市政に提案をしていく。

そこで、得たこと、やり取りしたことを、今度はみなさんにお伝えをしていく。

これを繰り返していくことが議員に求められていることの一つだと思います。

それを実践したものをいくつかまとめ、市政報告を作成させて頂きました。

ぜひ、読んで頂ければと思います！！

岡崎市議会議員　小田たかゆき